

はじめに

このたびは、京都大学藤子不二雄同好会（京大 F 同）の企画に足を運んでいただき、また、この会誌を手にとっていただきありがとうございます。

今年の 12 月 1 日に、藤子・F・不二雄先生は生誕 90 周年を迎えられます。10 月 3 日に「藤子・F・不二雄 生誕 90 周年記念特設サイト」がオープンしたのを皮切りに、この記念すべき年を彩る様々な企画が発表されました。我々 F 同会員も、非常に楽しみにしておりますし、こんな素晴らしいタイミングで会誌を発行できることを大変嬉しく思っております。

私が藤子・F・不二雄先生の作品に最初に触れたのは、もう思い出せないほど幼い頃ですが、そのきっかけは間違いなく『ドラえもん』でした。私の家には漫画を買う習慣はなかったため、主にテレビアニメを観ていましたが、幼い時分には「この作品を作ったのは誰か」だとか、「原作者は既に亡くなっている」だとかは、全く知らずに、ただ毎週金曜決まった時間にテレビを観ていました。

小学生の頃に、藤子・F・不二雄ミュージアムが設立されたり、「藤子・F・不二雄大全集」が刊行されたりして、『ドラえもん』だけでなく様々な作品・キャラクターの住む、<F の森>へと誘われていきました。

そうして大学生になり、藤子作品を愛するサークルで会長をすることになるとは、全く想像していませんでした。少しずつですが、[Ⓐ]作品にも触れるようになり、ますます森は広がるばかりです。

この森はあまりにも広く、私もまだ行ったところのないところがたくさんありますが、そうしたところにも足を踏み入れている人がいるのがこのサークル、F 同です。そんな会員たちがそれぞれの目線で、様々な思い・考えをこの会誌にしたためています。

それでは、お好きなところから、本会誌を存分にお楽しみください。

京都大学藤子不二雄同好会第 10 代会長 川下慶和